



10 Functional Exercise/Evaluation

機能訓練・評価システム

Functional Exercise/Evaluation

機能訓練・評価システム

Locomo Scan

下肢筋力評価システム

ロコモスキャン 10-01

身体の移動機能に関わる大腿四頭筋を中心とした下肢筋力を定量的に評価するための筋力測定器です。ポータブル設計により患者さんのいる場所で、簡単・スピーディーに測定が可能です。測定結果は、大型多機能筋力測定器と高い相関があるだけでなく、性別・年代別での相対的な筋力評価も行えます。ロコモスキャンの活用により、患者さんに定期的な下肢筋力測定の機会を提供し、運動機能の維持・向上に貢献することができます。

ロコモスキャン(アシストフレーム含む) 1式 900,000



測定結果表示・履歴
最大筋力、体重比等を表示します。直近6日分の結果の推移をグラフ表示できます。

筋力訓練モード
測定結果から適した条件を設定し、訓練ができます。視覚・聴覚で筋力を確認しながらの訓練が可能です。



《ロコモスキャン》の測定原理
この原理の要領で、足関節を固定するベルトを蹴りあげることで膝裏が測定部分に押し込まれ、大腿四頭筋を中心とした下肢筋力を測定します。



Feedback

フィードバックログ

センサからのアナログ信号を記録すると同時に、信号レベルを音および振動でフィードバックする装置です。Biometrics社製の、EMG、ゴニオメータ、ピンチメータ(把持力計)、グリップメータ(握力計)、マイオメータ(徒手筋力計)、加速度計(3軸のうち2成分のみ)のいずれも利用できます。

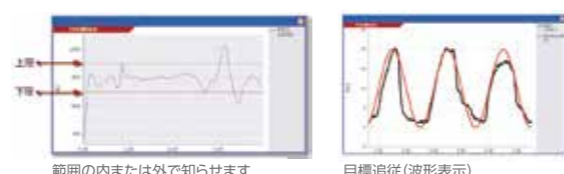
Chapter 9 ■ フィードバックログ



トライアス フィードバック機能

トライアス取込プログラムは、センサからの計測データに応じて被験者へフィードバックを行う機能を備えており、目標追従、音出力、光出力が可能です。目標追従では、目標データと計測データをリアルタイムに表示しながら被験者が追従を行います。目標データは任意で作成できます。音と光によるフィードバックでは、ブザーやLEDなどの機器を接続して、あらかじめ設定した閾値と条件に応じて被験者へのフィードバックを行うことができます。

Chapter 3 ■ TRIAS System



E-LINK

上肢下肢訓練評価システム

E-LINK 訓練用キット M600型 10-02

上肢・下肢及び手の訓練を目的として設計されたもので、EMGセンサでのバイオフィードバック利用の訓練が行えるMyo-E-Xと、傾斜を検出するセンサを利用した、関節の動きをみるAngleX、及び訓練ソフトウェアで構成されています。

訓練用キット	M600	1組	726,000
インターXユニット	X4	1	577,000
小計			¥1,303,000



E-LINK フォースプレート FP3型 10-03

フォースプレートは上肢・下肢の体重負荷利用による目的動作、訓練、運動学習を行わせたり、制御力をみるためのものです。指のわずかな接触から、全体重負荷に至るまで反応しますので、広範囲にわたるリハビリテーションが可能となります。フォースプレート2枚で前後方向または左右方向など1方向の荷重変化を評価できるキット(DFP2)と、フォースプレート4枚で前後左右の2方向の荷重変化を評価できるキット(DFP4)もあります。

フォースプレート	FP3	1組	390,000
インターXユニット	X4	1	577,000
小計			¥967,000

1軸加圧評価訓練キット DFP2 1組 845,000
2軸&1軸加圧評価訓練キット DFP4 1組 1,539,000

※DFP2、DFP4ともに、パソコンとのインターフェースにはインターXユニットが必要です。



E-LINK ROMキット R500型 10-04

上肢・下肢の大小の関節可動域を迅速・正確にデータ収集して文書化することを目的としたキットです。大小2個の電子式関節角度計と専用ソフトウェアで構成されています。角度計を手を持って関節に当てて保持し、1回のボタン操作をするだけで、1度単位のデータを取得することができます。

ROMキット	R500	1組	576,000
インターXユニット	X4	1	577,000
小計			¥1,153,000



E-LINK ハンドキット H500型 10-05

グリップダイナモメータ、ピンチメータ、専用ソフトウェアより構成されています。握力テストは最大握力テスト、持続的握力テスト、最大下作動力の早期交換テスト等があり、ピンチ力では鍵つまみ、三つ指つまみ、指つまみ、持続的つまみ力テスト等があります。

ハンドキット	H500	1組	682,000
インターXユニット	X4	1	577,000
小計			¥1,259,000



可動域、力範囲、スピード、難易度を調節できる豊富なアクティビティ(訓練用ゲーム)

E-LINK 上肢訓練具 E4000型 10-06

回転負荷コントロールユニットと12ツール・レバーアームアタッチメント、訓練用ソフトウェアより構成されます。様々なツールを回転負荷ユニット軸に取り付け、娯楽性の高いゲームで動機付けしながら手・肘・肩関節動作の訓練ができます。機能を速度と難度で等級分けでき、上肢障害者の機能回復訓練、神経性認知障害の方の訓練ができます。

上肢訓練具	E4000	1組	545,000
インターXユニット	X4	1	577,000
小計			¥1,122,000

E-LINK 評価・訓練パッケージ 10-07

評価・訓練パッケージ	EP10型	1組	4,547,000
上肢評価・訓練パッケージ	EP11型	1組	3,218,000
訓練パッケージ	EP12型	1組	2,933,000
訓練パッケージ	EP14型	1組	3,581,000
2軸フォースプレート評価・訓練パッケージ	EP40型	1組	1,920,000

パッケージ構成表	EP10	EP11	EP12	EP14	EP40
インターXユニットX4	○	○	○	○	○
上肢訓練具 E4000	○	○	○	○	○
訓練用キット M600	○	○	○	○	○
ハンドキット H500	○	○	○	○	○
フォースプレート FP3		○			
1軸加圧評価訓練キット DFP2 ※1			○		
2軸&1軸加圧評価訓練キット DFP4 ※2	○			○	○
ROMキット R500	○	○			
上肢評価ソフトウェア ESW	○	○			
上肢損傷計算ソフトウェア ICSW	○				
下肢評価・損傷計算ソフトウェア LSW	○				

※1 DFP2には2つのFP3 ForcePlateが含まれており、1つのFP3として使用することもできます
※2 DFP4には4つのFP3フォースプレートが含まれており、DFP2またはFP3としても使用できます